

MotoGP第11戦でアレックス・リンス選手が今シーズン初優勝 ジョアン・ミル選手も年間ポイントランキングトップに浮上



10月18日にスペインのモーターランド・アラゴンで行われた二輪車レースの最高峰「FIM※ロードレース世界選手権(MotoGP)」第11戦において、「GSX-RR」でMotoGPクラスに参戦するチームスズキエクスターのアレックス・リンス選手が優勝した。ジョアン・ミル選手も3位を獲得し、年間ポイントランキングでトップに浮上した。

決勝レースでリンス選手は予選順位10番手のスタートとなったが、6周目にはトップを走るマーベリック・ビニャーレス選手(ヤマハ)の背後に迫る2位へ浮上し、8周目の最終コーナーでかわしてトップに立った。その後、アレックス・マルケス選手(ホンダ)との攻防を制し、今シーズン初優勝を果たした。

ミル選手は6番手からスタートし、8周目に3位に浮上した。その後、2位に浮上する場面もあったが、3位を死守し、今シーズン5度目の表彰台を獲得した。

リンス選手は今シーズン初めにけがで欠場するなど苦しいレース展開が続いたものの、第9戦カタールGPでの3位表彰台に続き今回の優勝で年間ポイントランキング7位に浮上した。リンス選手にとってMotoGPクラスでの優勝は2019年8月のイギリスGP以来3度目となる。

ミル選手は今シーズンの累計ポイントが121ポイントとなり、年間ポイントランキングで首位に浮上した。また、チーム順位も年間ランキング首位となった。

※FIM(国際モーターサイクリズム連盟)

MotoGP第11戦アラゴンGP 決勝レース結果

	ライダー
1位	アレックス・リンス(スズキ)
2位	アレックス・マルケス(ホンダ)
3位	ジョアン・ミル(スズキ)

年間ポイントランキング(第11戦終了時点)

	ライダー	ポイント
1位	ジョアン・ミル(スズキ)	121
2位	ファビオ・クアルタラロ(ヤマハ)	115
3位	マーベリック・ビニャーレス(ヤマハ)	109
7位	アレックス・リンス(スズキ)	85

スズキ レーシングレポート <https://www1.suzuki.co.jp/motor/sports/race/motogp.php>